

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「心情表出」
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

専門家としての立居振舞い・言葉使い・言動・礼節を構築し、こどもの挨拶体得率の向上

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目(課題)	取り組み状況
①	マナーを高める。	幼児組の各クラスで挨拶運動を行い、遊びの中に挨拶ゲームなどを取り入れ、挨拶の習慣がつくようにしている。行事など、全体で集まる時などに指導や声掛けを実施した結果、ずいぶんと恥ずかしがらずに出来るようになってきており、自然に挨拶を交わすようになってきている。職員は中堅研修を行い、園の中心となる職員の言動について、園内外の見本となるように再確認することが出来た。
②	園の活動の理解を深める。 2020年のスムーズな移行。	2020年度の法人統合に関する説明会を実施し、保護者様にご理解を頂くことが出来た。統合に関して、保護者会様、幼稚園PTA役員様にご協力頂き、連携して進めることが出来ているのは大変ありがたい。職員も園長を中心に細かく会議をもってスムーズに移行できるように調整している。
③	経営。	収入支出の月次分析を行っているが、目標の収支差額5%を達成できていない。達成が出来るように職員の意識を高め、細かなところから無駄のないようにして経営していきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・目標に対して、職員間での意識統一、意識向上を行う為、今年度から少人数での会議体制に変更した。各部署やクラスごとの他に関係部署からも参加することで、連携時の問題点や議題のコアな部分に積極的かつ具体的に意見交換を行い、リーダーが責任をもって各クラスに周知、取り組みを行い園全体として専門職としての資質の向上につながった。また、園児の挨拶の習得には各クラス工夫を凝らした取り組みの実施と共に、職員自らの姿勢が見本となる効果も大きく、園内で自然に挨拶が交わされるまでに体得出来た。

5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

課題		具体的な取り組み方法
①	・土曜日・延長保育プロジェクトでの取り組みの拡張化	・今年度、子ども達が自ら選択し、興味をもったを充分に取り組める環境を設定し取り組んできた事をさらに充実させると共に、通常保育との両輪をより緊密にし、自然な形となるよう構築していく。
②	・保育教諭の働き方改革	・休憩時間の確保と共に、記録関係や雑務の見直しを行い、コドモンシステムを活用してスマート化を図る。

6. 学校関係者の評価

・今年度の課題「マナーを高める」では、十分なところまでとはいかないが、子ども達に教育の中で挨拶運動や挨拶ゲームなどをとり入れた効果が出ており、外部関係者に自然に挨拶をするようになってきている。また、職員は法人全体で行った中堅研修で得た後輩への指導やコミュニケーションスキルから意識が変わったようで園の中心核を担う責任感が出てきており、中堅職員の姿勢にも嬉しい変化があった。

・「園の活動理解を深める。2020年スムーズな移行」では、12月までは、ラ・ガーデンの閉園や法人統合について上手く進められていたが年明けから細かいところを詰める段階で様々な問題が見え、お子さまや保護者に負担が行かないように何度も会議を重ねて検討した結果、バスコースなどで周知までに時間がかかっていたことは反省点と言える。

・「経営」の面では、目標の収支差額5%を達成できなかった。次年度の法人統合では 初年度が肝心である。園児が約340名になる
 の
 で、収入と支出の
 バランスをしっかりと確認しながら運営してほしいと願うとともに、私達も理事会・評議委員会で確認をしていく。

令和2年3月24日 理事会